

当初予算

問合せ 財政課 ☎9126

まちの活力を生み出す実行予算
近年の経済状況の低迷から脱却するとともに、少子化・高齢化の時代にあっても、将来に向かって活力があり、市民全員が笑顔で暮らしやすいまちとなるよう、社会保障関係に留意しつつも、国の経済対策等を活用しながら、将来の布石となる投資的事業などに力を入れ「住み続けたい」「活力ある」まちを目指して積極的に推進します。

※1万円未満の数字は四捨五入、△はマイナスです

今年度の一般会計の予算額は、

457億2,000万円

3つの施策を戦略的に展開することで、安心して、住みやすい、住み続けたいまちづくりに重点配分した事業

自主防災組織の育成支援	1,361万円	災害に備える まちづくり	
地震ハザードマップの作成	508万円		
大規模災害を想定した図上訓練の実施	50万円		
避難所の発電機の配備	397万円		
消防救急無線のデジタル化	9,946万円		
木造住宅・緊急輸送道路沿道の建築物や大規模建築物の耐震化を促進	1,160万円		
小・中学校施設の耐震化	9億812万円		
暮らし安全指導員の配置	755万円		魅力があり、にぎわいのあるまちづくり
次期一般廃棄物処理施設の基本計画、生活環境影響調査等	7,234万円		
不法投棄防止などの地域廃棄物対策	575万円		
ラムサール条約登録湿地の保全、活用等の検討	408万円		
防犯灯LED化の促進	3,593万円		
森林の保全育成	7,388万円		
大野福祉保健センターなどの空調設備などの改修	6,819万円		
市民センターのバリアフリー化	8,817万円		
にぎわいの創出		子どもが笑顔で育つ まちづくり	
大野支所複合施設整備基本計画の策定	500万円		
JR廿日市駅周辺整備（駅前広場、自転車駐車場等）	2億6,176万円		
JR大野浦駅周辺の整備	4億3,460万円		
「宮島」の玄関口（宮島口桟橋周辺）の整備	3億7,000万円		

生活環境の向上	
暮らし安全指導員の配置	755万円
次期一般廃棄物処理施設の基本計画、生活環境影響調査等	7,234万円
不法投棄防止などの地域廃棄物対策	575万円
ラムサール条約登録湿地の保全、活用等の検討	408万円
防犯灯LED化の促進	3,593万円
森林の保全育成	7,388万円
大野福祉保健センターなどの空調設備などの改修	6,819万円
市民センターのバリアフリー化	8,817万円

にぎわいの創出	
大野支所複合施設整備基本計画の策定	500万円
JR廿日市駅周辺整備（駅前広場、自転車駐車場等）	2億6,176万円
JR大野浦駅周辺の整備	4億3,460万円
「宮島」の玄関口（宮島口桟橋周辺）の整備	3億7,000万円
観光振興基本計画の策定	285万円
吉和地域における自然体験型プログラムの情報発信など	200万円
中央市民センターの整備	1億1,929万円

活力の創出	
吉和地域・佐伯地域へ地域支援員を派遣	1,102万円
起業・創業者や第2創業の支援	196万円
新機能都市開発構想の調査	1,536万円
地域の核となる農業経営者の育成	2,600万円
農業の担い手育成の支援	1,720万円
漁港施設の長寿命化の推進（丸石漁港の防波堤改修工事など）	1億2,450万円

待機児童の解消・特別保育などの拡充	621万円	子どもが笑顔で育つ まちづくり
大野西小学校・大野中学校小中一貫教育推進校の建設	10億6,874万円	
いじめ防止対策の充実	5,453万円	
・廿日市市いじめ問題対策連絡協議会の設置		
・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの派遣		
・生徒指導アシスタント、心の教室相談員の拡充 など		
学校支援地域本部の設置	1,347万円	

※概要は、市ホームページに掲載しています

歳入総額 457億2,000万円

市税	152億9,890万円
対前年比+2億7,862万円	

地方交付税	94億1,000万円
対前年比△5億7,000万円	

国・県支出金	77億5,602万円
対前年比+1億8,255万円	

借入金（市債）	71億5,260万円
対前年比+9億6,630万円	

交付金（地方譲与税など）	19億5,633万円
対前年比+3億4,921万円	

繰入金	15億687万円
対前年比+7億8,163万円	

その他（使用料など）	26億3,928万円
対前年比+7,169万円	

歳出総額 457億2,000万円

福祉サービスの提供などに	144億5,116万円
対前年比+3億9,697万円	

借入金の返済に	61億1,942万円
対前年比△1億347万円	

道路や市街地の整備などに	54億5,245万円
対前年比+3億829万円	

教育の充実に	53億9,792万円
対前年比+5億6,358万円	

コミュニティの推進などに	47億3,745万円
対前年比+1億6,565万円	

保健・医療や環境対策などに	35億8,616万円
対前年比+672万円	

商工業、観光の振興に	23億7,194万円
対前年比+5億551万円	

消防・防災対策などに	21億760万円
対前年比+7,879万円	

農林水産業の振興に	10億7,816万円
対前年比+1億4,442万円	

その他	4億1,774万円
対前年比△646万円	

●主な内容
●交通の円滑化を図るため都市計画道路の整備

●国際的観光地にふさわしい宮島の玄関口整備



●主な内容
●平良・佐方地区の新機能都市開発構想の具現化に向けた調査

●地域支援員の活用



廿日市市地域支援員として活躍する吉富有美さん（右）と、早川幸江さん（左）

●主な内容
●震度分布図などを掲載した地震ハザードマップの作成

●自主防災組織への支援



●主な内容
●生産者と実需者をつなぐシステムの構築

●漁港施設の長寿命化の推進



●主な内容
●高齢者の重点施策などを明らかにする高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定

●子育て世帯などに対する臨時的な給付措置



●主な内容
●小・中学校施設などの耐震対策



●児童・生徒を笑顔で育むいじめ防止対策

●主な内容
●循環型社会形成の実現を目指し、次期一般廃棄物処理施設の整備に向けた調査

●ラムサール条約登録湿地の保全、活用などの検討



登録された湿地に生息する希少なヤジマトンボ

●主な内容
●産業振興や雇用創出につながる企業ニーズ調査の実施

●瀬戸内海・広島湾クルーズの定着を図る取り組み

